

背景

○選挙権年齢の引き下げを契機に、中高生が政治や選挙を身近に感じ、興味や関心を持ってもらうことを目的として、地元の大学生と中高生をマッチングさせた模擬選挙型の票育授業に取り組んでいる。

事業の概要 〈開始年度：H28～ R4実績：票育CREW25名が活動〉

○票育CREW（クルー）の認定

・応募のあった県内の学生を票育CREWとして認定。

○票育授業実施に向けた研修の実施

・票育CREWは、まちの課題を調査した後、その解決策等について研修を受講。

○票育CREWによる票育授業の実施

・票育CREWが候補者役となって市の活性化をテーマとした政策案について中高生に対し、提案する模擬選挙型の授業を実施。

・中高生は、グループディスカッションを通じて、同級生との考えの違いや判断する内容を共有することで、誰に投票するか主体的に考え投票。

※R4開催実績3校（延べ約600人）

[▼研修の様子]



[▼授業の様子]



[▼投票の様子]



工夫・注意点

○政策案作成の対面研修を補完するためにオンラインによる研修も実施。

○架空のテーマではなく、まちの課題を調査した上で現実の課題をテーマに模擬選挙を実施。

○模擬選挙では、交付機、記載台、投票函など本物の選挙機器に触れる機会を作っている。

事業の効果・今後の展開

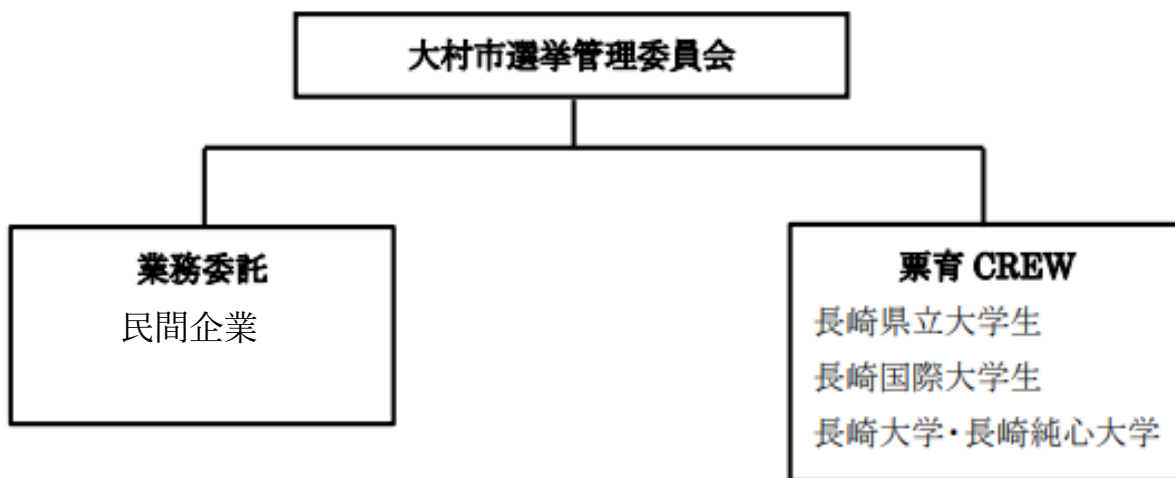
○年齢の近い大学生が授業を行うことで、中高生も親近感を持って参加し、主権者教育の意識を高めることができる。第7期では高校生も票育CREWに加わり、候補者役を担った。

○本事業を中高生の時に体験したことをきっかけとして、進学後に票育CREWに応募する流れができつつある。

○学校側からの授業の実施依頼や、他市選管、大学関係者の視察依頼も増加傾向にある。

○自ら考え、行動できる主体性のある若者を育むことが本市の将来の担い手を育むことに繋がるものと考え、授業を担う大学生の育成と継続的な実施体制の確保を図っていく。

体制図



【役割分担】

民間企業	票育 CREW の指導・授業実施に向けたサポート
票育 CREW	授業実施に向けての研修を受け、各中学高校で票育授業を実施する。
選挙管理委員会	票育授業実施校の選定、関係機関との連絡調整、授業実施に向けての準備、予算の執行